

中央教育審議会大学分科会大学院部会 専門職大学院ワーキンググループの審議状況

1. 趣旨等

専門職大学院制度が創設されて10年余り経過し制度の検証、見直しが必要とされたことを受け、中央教育審議会大学分科会大学院部会にワーキンググループを設置※して、専門職大学院制度の検証を行い、必要な制度的措置を検討

※平成27年8月31日大学院部会において了承

2. これまでの審議経過

平成27年12月21日	制度の現状についてのフリーディスカッション
平成28年1月13日	各分野からのヒアリング①
2月15日	各分野からのヒアリング②
3月9日	論点整理（予定）

4月以降、月1回程度で審議し、概ね平成28年8月末までを目途に審議まとめを行い、大学院部会へ報告する予定

3. 検討課題（第1回WG資料より）

【教育課程】

- ・ 同分野における専門職学位課程と修士課程における人材養成機能、教育内容の役割分担
- ・ 教育内容の分野が多岐に渡る専門職大学院の教育目的、核となる科目の明確化
- ・ 今後成長が見込まれる分野に特化した経営人材の養成機能を抜本的に強化するため、就職後一定程度の経験を積んだ社会人が将来の仕事の変化に対応できるような高度な専門的能力を涵養する教育課程の充実
- ・ 様々な職種、就業形態、求められる資質・能力に応じた社会人に対する多様な教育課程の提供の促進や制度見直しを含めた継続教育の充実方策
- ・ 専門職大学院設置基準上の必要単位数の在り方
- ・ 国際的な認証を受ける世界基準の教育課程の開発

【教員組織】

- ・ 理論と実務の架橋を強く意識した教育をより効果的に行うための研究者教員と実務家教員の連携や、実務家教員の比率の在り方等、教員組織の在り方
- ・ 第一線の実務家教員の専門職大学院への参画の促進
- ・ 教員の質担保のための方策
- ・ 専任教員数の在り方
- ・ 専門職大学院の教員養成の在り方

【認証評価】

- ・ 国際的な評価機関の評価の在り方
- ・ 機関別認証評価と分野別認証評価の在り方

【産業界等との連携】

- ・ 関係する業界や職能団体等との連携(カリキュラム編成への参画やインターンシップの推進等)

【その他】

- ・ 公認会計士試験のように、一定の科目の単位の修得による専門職学位の取得が試験の一部科目免除の要件となっている資格試験と、専門職大学院における教育内容との有機的な連携を図る方策
- ・ 専門職大学院に関する情報公表の促進

中央教育審議会大学分科会大学院部会 専門職大学院ワーキンググループ委員名簿

専門委員：平成27年12月21日発令

(臨時委員) 3名

有 信 睦 弘 国立研究開発法人理化学研究所理事、
東京大学監事

川 嶋 太津夫 大阪大学未来戦略機構教授

玉 腰 暁 子 北海道大学大学院医学研究科教授

(専門委員) 8名

青 井 倫 一 明治大学大学院グローバル・ビジネス
研究科長

大 竹 由希子 株式会社日立製作所人事教育総務センタ
採用グループ部長代理

片 山 直 也 慶應義塾大学大学院法務研究科
(法科大学院) 委員長、教授

上 西 研 山口大学学長特命補佐・大学院技術経営
研究科教授

杉 本 徳 栄 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授

添 田 久美子 和歌山大学教育学部教授、学長補佐

松 崎 佳 子 九州大学大学院人間環境学研究院教授

宮 脇 淳 北海道大学大学院法学研究科教授

計 11名

*有信委員の発令日は平成27年3月24日

*川嶋委員、玉腰委員の発令日は平成27年4月6日

*片山委員の発令日は平成27年5月11日